

不透明な「社友会運営」

池袋統括センターにおいて、社友会主催の親睦会が行われました。この件について、この間以下の3点に対して主張・お知らせしておりました。

- ①そこに会社の管理監督者にあたる指定職が数名参加し、**約20万円の会社経費が使われていたこと。**
- ②社友会の活動に会社経費を使うことは**法律に抵触する行為であること。**



この件についての**団体交渉での会社の主張**

結婚式に呼ばれて、ご祝儀を渡すのと同じ

2024年度年末手当の団体交渉で、会社資金の杜撰な支出と、会社経費は全社員に公正・公平に配分すべきであることを指摘したところ、会社は「社友会を援助したものではない。結婚式などで呼ばれて祝い金を持っていくのと同じ」と述べました。

社友会の運営や会社と社友会の関係性が益々不透明に！

会費徴収がないといわれている社友会が主催する親睦会の「参加費」に充てている以上、社友会に対する援助です！

いま、年末手当の交渉が行われておりますが、現場で苦労しながら確保してきた収益は、社員に等しく還元するべきです！

会社の主張は、非常識な援助を隠すための言い訳にしか聞こえません！全社員への平等と公平を求め、声をあげていこう！